

広域商連ニュース

No. 53

川崎駅広域商店街連合会 〒210-0006 川崎区砂子 2-6-13 武藤ビル 4 F 電話 044-233-8874

令和 8 年 新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素は、当連合会の活動に対し多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、米価の上昇や電気・ガスをはじめとするエネルギー価格の高騰が続き、飲食店のみならず物販等の各業種においても、経営環境の厳しさが続く一年となりました。

そのような状況下の中、昨年 7 月に川崎市で開催された「2025 年ジャンプロープ世界選

手権大会」では、「ミールクーポン」を活用した連携施策を実施いたしました。これにより、エリア内の回遊促進や飲食店の利用増加に繋がるなど、確かな成果を得ることができました。先日、川崎市はプレミアム率 30%の「プレミアムデジタル商品券」についてリリースしました。活性化に大いに期待できそうです。

依然として予断を許さない経済状況ではございますが、本年も行政や諸団体との連携を一層強化し、地域商業の活性化に邁進してまいります。

役員一同、全力を尽くしてまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

川崎駅広域商店街連合会

会長 鬼塚保



2025 年川崎市の主なニュース

★「全国都市緑化かわさきフェア」開催 市制 100 周年記念事業の締めくくりとして、富士見公園や生田緑地などを会場に春・秋で開催。多くの市民が訪れ、緑豊かな街づくりを印象付けました。

★「2025 年ジャンプロープ世界選手権大会」開催 7 月下旬、とどろきアリーナを中心に開催。32 カ国・地域から選手が集結し、日本代表がメダル獲得数 1 位の快挙。ミールクーポン等の施策により、周辺商店街の活性化にも寄与しました。

★川崎港の経済波及効果が 6.8 兆円に到達 臨海部の物流・産業機能が強化され、地域経済を支える巨大なハブとしての存在感が再確認されました。

2026 年 川崎市の主な整備計画

本年は、長年計画されてきたプロジェクトが「目に見える形」で動き出します。

★川崎駅西口：新アリーナ計画の進展 DeNA と京急電鉄らによる「川崎新アリーナ(仮称)」プロジェクト。2030 年の開業に向け、周辺の多摩川河川敷整備と連動した詳細設計や周辺環境の整備が加速します。

★JR 南武線・連続立体交差事業(高架化) 矢向駅から武蔵小杉駅間の高架化に向けた工事が本格化。併せて「ガス橋通り」の拡幅・新設事業が進み、踏切解消と渋滞緩和への期待が高まっています。

★川崎競輪場の再整備 メインスタンドの耐震化や選手管理棟の建て替えが進み、単なる公営競技場ではなく、オープンスペースや緑化を備えた地域に開かれた施設へと再構築が進みます。